

声 明

明治大学学生会中央執行委員会

疾風怒濤の時代を迎えている。更に、我々の生存が「今」を問われている。過去の美化と未来の解体が並進的に行なわれている現状が、複合された重みとして、時代の流動を早め「今」の生存を鋭く検査する。もはや、我々が人間の証しを立てるに、その猶予の時はない。学費値上げは、時代の集中的発現として、死滅しつつある巨体を我々の眼前に横たえている。

疾風に抗するに、自らが掘る穴では浅すぎるし、怒濤に抗うに腕で越えうる高さでは低すぎる。

ふたたび、我々の「今」が問われている。

理事会がいかに苦闘し、死滅しつつある巨体の腐敗を隠蔽しようとも、流れ出る汚汁は駿河台を浸し和泉・生田へと拡がっている。いや、理事会そのものの腐敗と破産は、既に我々の手により、白日の下に晒されている。疾風怒濤の時代の我々の「今」が、我々が生きていくが故に避けては通れぬものでありその間に答えねばならないものであるならば、我々の「今」はまさに過去の美化と未来の解体の揚棄として、死滅しつつある巨体と破産を晒しながらも、今にその形骸を保っている理事会の粉砕でなければならぬ。

全明治大学人のなかで、あるいは破産し、あるいは有効に対処しえず、事態の進展のなすがままに翻弄されているものが部分を占める時、唯一、疾風怒濤の本質を揚棄しうる能力と力を示しうるのは我々学生を於いて、他にはない。

我々は、疾風怒濤を迎え撃つ、歴史的偉業に対し、能力と、責任の所在を明らかにし、過去の正視から未来の創造へむけて、雄々しくその第一歩を踏みだすことを、ここに厳かに宣言する。

学費値上げ阻止ノ
最後まで闘うぞノ

学費値上げ阻止にむけて

明治大学学生会中央執行委員会
海外移住研 明治大学学生会中央執行委員会
法政経営文農工短大学生会
生活消費協同組合組織部
健康保険組合学委員
学生会館運営委員会

目次

声明(学生会中央執行委員会)	1
学費値上げの基本的視点	2
教育情勢と明治の教育状況	3
学費事実経過	4
明治の財政状況	5
資料四年間予算表	6
教員一人当り学生数表	7

学費問題への基本的視点

「はじめに」

「大学とは何か」

「学費値上げの意味」

「学費値上げの背景」

「学費値上げの現状」

「学費値上げの将来」

「学費値上げの対策」

「学費値上げの結論」

学費事実経過

明治大学	七・二
慶応義塾大学	七・二
早稲田大学	七・二
東京大学	七・二
京都大学	七・二
大阪大学	七・二
名古屋大学	七・二
神戸大学	七・二
横浜国立大学	七・二
千葉大学	七・二
筑波大学	七・二
新潟大学	七・二
金沢大学	七・二
富山大学	七・二
石川大学	七・二
福井大学	七・二
山梨大学	七・二
長野大学	七・二
岐阜大学	七・二
静岡県立大学	七・二
愛知県立大学	七・二
名古屋市立大学	七・二
愛媛大学	七・二
高松大学	七・二
香川県立大学	七・二
徳島大学	七・二
高知大学	七・二
宮崎大学	七・二
鹿児島大学	七・二
沖縄県立大学	七・二

